

The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 寺本 亮洞
〒520-0113 大津市坂本 4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

令和元(2019)年6月1日土曜日
(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



天皇陛下御即位奉祝臨時御修法を厳修

比叡山延暦寺根本中堂

新御代の安寧と世界平和を祈念

天皇陛下の御即位を奉祝した「天皇陛下御即位奉祝臨時御修法」が4月28日から5月1日まで、比叡山延暦寺根本中堂にて九箇座にわたり厳修され、玉体安穩、新御代の安寧と世界平和が祈念された。(写真上)

森川宏映座主猥下を大阿闍梨に「長日御修法」の修法をもって修され(写真下) 次席探題の大樹孝啓大僧正、五箇室門跡門主や宗内高僧、天台宗と延暦寺内局、延暦寺一山住職らが交代で出仕し、三夜四日間勤められた。

三十一歳を数え、その間幸いに我が国に戦禍の憂いなく、その一方で自然の災禍は免れず 今上両陛下 只管親しく被災地の人々にその慈悲の御心を垂れ賜い その御姿は全国民の心に残り感謝と敬愛の念と共に消えることなし」と表白を読み上げられた。また5月1日に即位された



天皇皇后両陛下には「御即位を慶祝し、本日より三三方座三壇三密の秘法を修し上げる」と述べられ、両陛下のご尊体

安寧と新時代の人々の幸せを祈願された。比叡山延暦寺では期間中、根本中堂内に奉祝への記帳台を設置。後日、宮内庁京都事務所に届けられた。奉祝御修法は、皇室の慶事などの際、臨時に営む御修法で、今回は平成5年5月31日から2日間亘り、皇太子殿下のご成婚を奉祝し修されている。なお、天皇陛下が国内外に御即位を宣明される最重要儀式「即位礼正殿の儀」が10月22日に行われることから、天台宗では、今秋に奉祝式典を奉修する予定である。

諭達

上皇陛下におかれましては去る四月三十日に御退位なされ、本日五月一日天皇陛下が御即位されました。歴代天皇陛下の御崇信をいただいて参りました総本山比叡山延暦寺では、謹んで四月二十八日より五月一日までの三ヶ日、玉体安穩、御願圓滿を御祈念申し上げ、天皇陛下御即位奉祝御修法を奉修いたしました。歴代天皇陛下のお伝えして参られた皇統の弥栄を壽ぎ奉り、国家の繁栄、世界の安寧を御祈念申し上げ、新しき時代をともしもに奉祝いたしたく存じます。宗徒各位には、上皇上皇后両陛下の大御代に奉謝しつつ、新天皇の御即位を奉祝申し上げ、すべての慶祝行事がつつがなく行われますよう御祈願下さい。

令和元年五月一日

天台座主 大僧正 森川宏映
宗務総長 大僧正 杜多道雄
延暦寺執行 大僧正 小堀光實

極微

現在、世界で動向が注目される国々のトップの顔ぶれを見ると、権力欲が旺盛な人間ばかりだ。米国のトランプ大統領、ロシアのプーチン大統領、中国の習近平国家主席、北朝鮮の最高指導者である金正恩朝鮮労働党委員長など、いずれも一筋縄ではいかない、強面だらけだ。自国第一主義の外交で、相手国と交渉も譲歩とか妥協路線を執らない姿勢が感じられる。これからは自国の利益が前面に出た荒々しいぶつかり合いの場が多々見られるようになるだろう。相手国との折衝の後の共同声明などでも、自国に都合の良い解釈が当たり前となる。当然、自国民の手前、相手国を非難することとなり、容赦ない対立となる。心配なのは煽られたナショナリズムを盾に物理的な衝突に発展する危険性である。もはや、外交の真髄である信頼関係というものがない状態だ。戦争はしばしば偶発的に起きる。現在の核兵器時代では、その上にさらにシステム上の不具合で偶発的に勃発する可能性がある。その危険性を増大させる心配な状況下となっているのが、現在の世界だ。識者の中には、その可能性を真剣に指摘する人もいる。今では瞬時に全世界が崩壊する核兵器の時代だけに、心配しても過ぎることはない。